



学校だより

あなたのみちも、
あるけるまち。 **ハ王子**

【ハ王子ブランドメッセージ】

令和8年10月1日 No.8

八王子市立東浅川小学校

〇すすんで学びます 〇心を磨きます 〇体を鍛えます

学校評価 結果のお知らせ

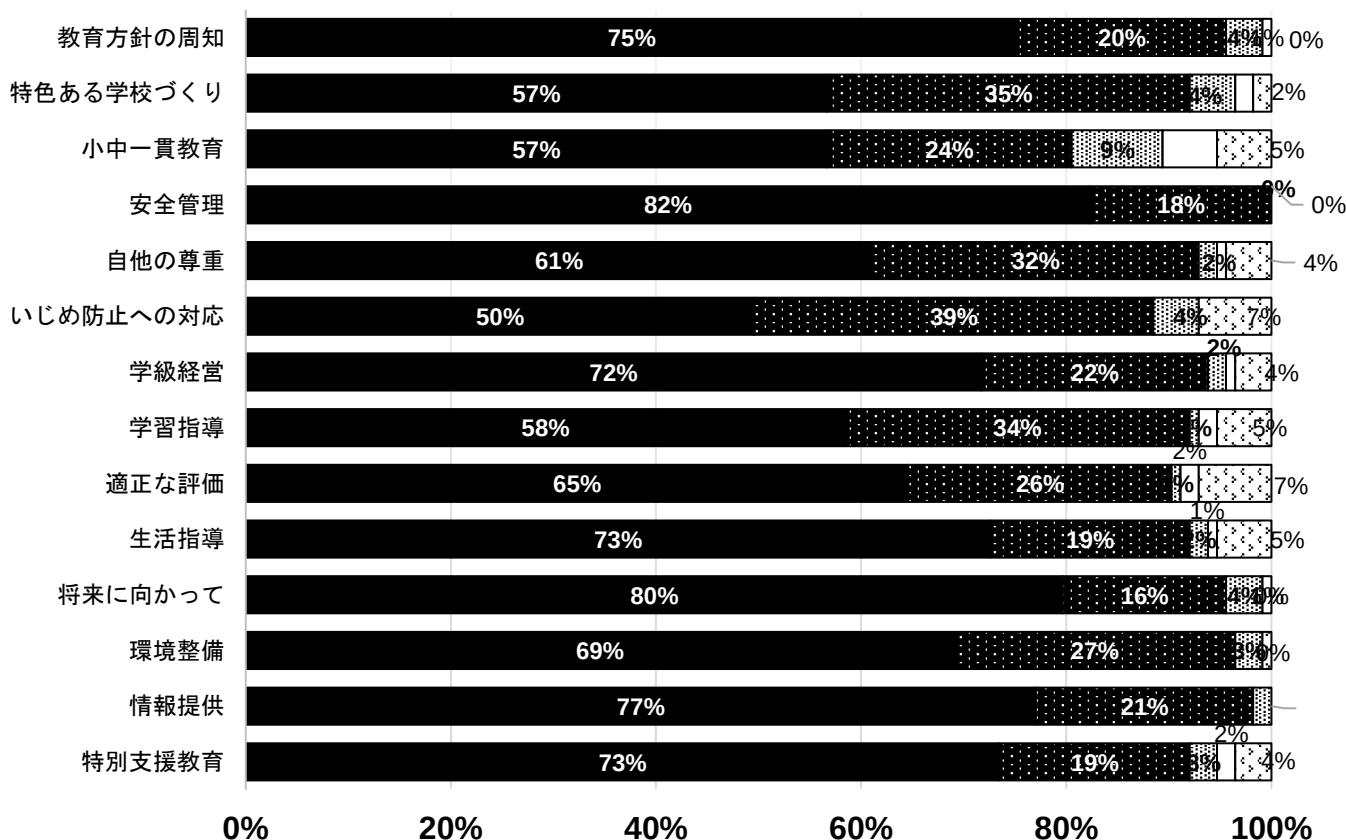
日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

7月に保護者の皆様にご協力いただきました「前期学校評価アンケート」を集計し、その結果と今後改善していくことなどをまとめました。結果につきましては真摯に受け止め、今後の教育活動につなげてまいりたいと思います。

令和8年度前期学校評価(回収数113名 回収率20.9%)

保護者学校評価

■あてはまる ■ややあてはまる □あまりあてはまらない □あてはまらない □わからない



※「あてはまる」「ややあてはまる」を概ね肯定的な評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を改善が必要な評価と捉え、見解を述べさせていただきました。

☆ 比較的、肯定的な評価を多くいただいた項目

【教育方針の周知】95% 【特色ある学校づくり】92% 【安全管理】100%

【自他の尊重】93% 【学級経営】94% 【学習指導】92% 【適正な評価】91%

【生活指導】92% 【将来に向かって】96% 【環境整備】96% 【情報提供】92%

【特別支援教育】95%

以上の、12項目につきましても、内容を分析し、より100%に近づけるよう工夫に努めます。

1 【教育方針の周知】 【特色ある学校づくり】

学校教育目標「〇すすんで学びます 〇心を磨きます 〇体を鍛えます」を保護者会や様々な教育活動を通じてご理解いただいていると受け止めました。これからも、子供たちの将来のために、子供がもっている力を「引き出す」「伸ばす」ことで、子供の自己肯定感を高めることを目指し、教育目標を実践する子供たちであふれる学校に近づけるよう、努力してまいります。「楽しく、前向きに自己実現に取り組む学校」、そんなことが自慢できるような学校を目指して努力していきます。また、学習ボランティアの皆様、保護者・地域の皆様と共に、特色ある学校づくりに継続して努めていきたいと考えていますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

2 【生活指導への取り組み】 【安全管理】

生活指導主任が中心となり、定期的に「安全指導」をしています。安全については、学校だけでなくご家庭でもお声かけいただくことが、安全で落ち着いた生活に結び付いていきます。また、「東浅川小学校の一日」「持ち物スタンダード」などの生活規律に関する決め事がありますが、子供たちが「よりよい学校生活に役立つ」という意識をもって、これらにすすんで向き合えるよう、指導を重ねてまいります。また、学校では月に1回避難訓練等を実施し、子供たちが安心・安全に過ごせるように、安全管理にも取り組んでいます。

3 【学習指導】 【学級経営】 【自他の尊重】 【適正な評価】

学校が、その役割を果たせるか否かの重要な項目であります。学校生活において、子供に分かりやすい授業をすること、落ち着いて学習できるようにすることは、「学校が楽しい！」の基盤でもあり、もとより学習内容の確実な定着、学力の向上の基本です。

教員が心がけるべきは「子供たち一人一人にしっかりと目を向け、子供たちの思いに寄り添うこと」「子供たちにわかりやすい言葉遣い、思いやりのある働きかけをすること」だと考えます。そのことを大切にしながら「きちんとした授業の始まり」、「子供たちの興味や関心を高めるような授業の導入」、「分かりやすい発問（教師の言葉がけ）や資料の工夫」、「授業中の子供たちの見取り（迷いがある子への働きかけ）」、「主体的に参加できるような、なんでも自分の考えを発表できる学級の風土づくり」「一人一人の子供たちの理解や頑張りへの価値付け（評価）」等々に努めています。子供たちにとってよく分かる授業、「分かった！できた！」の笑顔を増やすことができるよう引き続き努力を重ねてまいります。どうか、ご家庭でもお子様と充実した時間を過ごしていただき、安定した気持ちで学校に通えるようなお力添えを今後ともよろしくお願いいたします。

4 【将来に向かって】

以前は、「わからない」の回答が多かったのですが、キャリアパスポートへの取組など、少しずつ保護者の皆様にもご理解いただいているように思います。「キャリア教育」についても年間指導計画を作成し、全学年で計画的に指導を行っています。

5 【環境整備への取り組み】

子供の安全を第一に、月1回または随時、校舎内外の安全点検を行っています。また、学期ごとに取り組む「挨拶・掃除がんばる週間」をはじめとして、「すすんで掃除をし、学校をきれいにしよう」「教室をきれいに保とう」という指導のもと、教室、廊下、階段、昇降口等の掃除を行っています。校内掲示物についても委員会活動の一環として5・6年生が行っています。学ぶ環境としての教室（掲示物や整頓された机や落とし物のない教室など）、玄関の靴入れ、気付いたごみを拾う習慣などにも目を配りながら、引き続き環境整備に努めてまいります。

6 【情報提供】

学校行事に変更がある場合には、お便りはもちろん、ホームページやHome&Schoolのメールなどを併用して、速やかにお知らせするように心がけています。また、校外学習の様子など子供たちの活動の様子に関しましても、できるだけホームページでタイムリーにお伝えするように努めていきます。携帯メール（Home&School）にまだ登録が済んでいない方、メールが届かない等、お困りのことがありましたら、学校（副校長）へお問い合わせください。

7 【特別支援教育】

以前から設置されている特別支援教室「けやき」と共に、特別支援学級「あんず学級」が設置されて4年目を迎え、特別支援教育（特別な支援を必要とする子供に対しての教育）への取組が、さらに充実してきました。以前は、アンケートで「わからない」の回答が多かったのですが、少しずつ保護者の皆様にもご理解いただいているように思います。

★ 改善が必要な評価をいただいた項目

【いじめ防止への対応】 89%

【小中一貫教育】 81%

この項目については「あてはまる」、「ややあてはまる」の評価が90%以下となっています。これらの課題を分析し、保護者、地域の皆様に信頼される学校づくりを目指していきます。

1 【いじめ防止への対応】

今年度も子供の「生活アンケート」を毎月全クラスで実施しております。そしてその結果をもとに週1回の会議で、教職員で共有すると共に、スクールカウンセラーとも連携し、個に応じた指導や、いじめは絶対に許さない指導を行っております。また、ふれあい月間では、「いじめに関するアンケート」を行い、いじめの兆候を見逃さないよう心がけていると共に、心があたたかくなる「まほうのことば」をクラスで決めて使っていくことで、思いやりの気持ちを育てています。高学年を対象に、弁護士による「いじめ予防授業」を行い、お互いの人権を守ることの大切さを考えています。アンケートでは、「わからない」の評価も高くなっておりますので、それらの取組が十分にお伝えできるよう、ご来校の折や、お便り等でお伝えして、多くの保護者の方々にご理解いただくように努めてまいります。

2 【小中一貫教育】

今年度も、スムーズな中学校への入学をねらいとして6年生が年間2回陵南中学校を訪問し、授業に参加したり、音楽発表会のリハーサルを参観したりする予定です。また、教員同士も互いの授業を参観し合うなど、本校と陵南中学校とが交互に会場となり、研修や情報交換を行っています。3学期には、6年生担任と中学校の先生との引継ぎも行っています。

3 【自由記述より】

- 一部の学級において、児童を長時間廊下に立たせるような不適切な指導が行われていると聞き、大変不安に感じております。子供たちの尊厳を守り、安心して登校できる環境づくりのために、学校全体でのご指導や誠意あるご対応をよろしくお願いいたします。
- ・学校として大変重く受け止めております。児童に過度な負担や不安を与えるような指導、および心情への配慮を欠いた対応は決してあってはならないと考えております。本件に関しましては、管理職より速やかに事実関係の確認を行い、児童一人一人の心に寄り添った適切な指導・支援を行うよう、当該教員に対して重ねて厳重な指導等を行っております。今後とも、すべての児童が安心して楽しく学校生活を送り、保護者の皆様に信頼していただけるよう、全教職員が一丸となって指導体制の改善と再発防止に努めてまいります。
- 昨年度は学校に水筒等を忘れてくることが非常に多く悩んでいましたが、今年度のクラスになってから担任の先生が持ち帰り忘れの無いよう工夫してくださっているのか、持ち帰り忘れがほぼなくなり、親子共々嬉しく思っています。漢字ドリルノートにいつも前向きなコメントを書いてくださり、子供のやる気につながっていると共に、よく見ていただいているのだなと親としても嬉しく感じています。お忙しい中ありがとうございます。
- ・水筒などの持ち帰り忘れがほぼ無くなったこと、また漢字ドリルへのコメントがお子さまのやる気に繋がっているとお声をいただき、担任をはじめ、全教職員にとって大きな喜びであり励みとなります。本校では、子供たちが自立して学校生活を送るための「きめ細やかな工夫や見守り」と、一人一人の努力を認めて伸ばす「前向きな声掛け」を大切にしております。ご家庭での日頃からのサポートにも深く感謝しつつ、今後も全職員でお子さまの成長に寄り添った丁寧な指導に努めてまいります。
- 担任の先生が、非常にこまめに子供の様子を見てくださっているように感じます。学習面に関しては子供が喜ぶようなコメントを毎日書いてくださり、毎週のとても詳しい学級だよりや、ちょっとしたことでもお電話くださる等、子供の学校生活がわかりやすく、また安心して学校に通わせることができいております。
- ・学級担任の指導や日頃の関わりにつきまして、心温まる励ましのお言葉をいただき、深く感謝申し上げます。毎日の丁寧なコメントや学級だより、お電話を通じた連携について、「安心して通わせることができている」とのお声をいただけたことは、担任をはじめ、全教職員にとって大きな喜びであり励みとなります。本校では、子供たち一人一人の成長を丁寧に見守り、学校での様子を分かりやすくお伝えする「ご家庭との緊密な連携」を大切にしております。今回の温かいお言葉を励みに、今後も全職員で子供たちや保護者の皆さまに寄り添った、きめ細やかな指導と環

境づくりに努めてまいります。

○低学年（特に1年生）の時期は、学校生活の準備や着替えなどの習慣づけに個人差があり、児童一人一人に寄り添ったサポートが必要だと感じております。担任の先生だけでは目が届きにくい場面もあるかと思しますので、各クラスに補助の先生を配置するなど、きめ細やかな支援体制を整えていただけますと幸いです。

・きめ細やかな配慮やサポートが行き届かず、ご不安な思いをさせていただきましたことを深くお詫び申し上げます。学校の支援体制につきまして、貴重なご要望をありがとうございます。学年補佐（支援員等）の配置につきましては、国や自治体の予算および制度上の枠組みがあるため、誠に心苦しいのですが『各クラスに1名ずつ常駐する体制』を整えることは困難な状況でございます。しかしながら、学校といたしましても低学年における丁寧な初期指導の重要性は強く認識しております。昨年度は1名だった学年補佐の配置を、今年度は2名体制へと強化いたしました。複数名の支援を要する児童への対応も含め、学年全体を見守る目を増やし、効果的な巡回とサポートを行っているところです。また、着替えや準備が滞っている児童が取り残されることのないよう、担任が事前に状況を把握し声をかけること、学年主任や補佐の教職員が連携してクラス間をフォローし合うことを改めて徹底いたしました。今後とも、お子様たちが安心して学校生活の習慣を身に付けられるよう、組織的な指導・支援に努めてまいります。

○1学期、児童間のトラブルが発生した際、担任の先生がすぐに相手方とも連絡を取るなど迅速に動いてくださり、大変安心いたしました。何より嬉しかったのは、その場限りの解決で終わらせず、その後も「最近どう？」と子どもに声をかけ、継続して気にかけてくださったことです。そのお心遣いのおかげで、子どもも安心して登校することができました。また学習面でも、本人のペースに合わせた個別サポートにより、勉強へのやる気を落とさずに取り組んでいます。タブレット（ICT）の振り返り機能を通じたメッセージのやり取りや、工夫を凝らした日記の宿題では、先生の温かいコメントを楽しみに、苦手だった文章作成に前向きに慣れていく姿が見られます。先生方の毎日の見守りや日記への添削は本当に大変なことと思いますが、子どもが先生とつながれる大切な時間となっていますので、ぜひ今後も続けていただきたいです。学校に任せっきりにするのではなく、保護者も先生をフォローし、お互いに寄り添いながら一緒に子どもと向き合っていくことが大切だと実感した一学期でした。本当にありがとうございました。2学期もよろしく願いいたします。

・児童間のトラブルなど、その場限りの解決とせず、その後も継続して指導にあたることを今後も継続していくことを大切にしていきます。日記の宿題において、お子様が目標を持って前向きに取り組む、担任とのやり取りを楽しみにされているとのこと、大変嬉しく拝読いたしました。また、毎日の日記指導における教員の負担を温かくお気遣いいただき、重ねて御礼申し上げます。

「学校任せにせず、家庭も学校と一緒にお子様に向き合っていきたい」というお言葉は、私たち教職員にとってこれ以上ない心強い励ましでございます。学校と家庭がお互いに寄り添い、フォローし合いながら子供を育てていく重要性を、改めて深く実感させていただきました。今後も全職員で子供たち一人一人に真摯に向き合ってまいります。

○のびのびと通学できています。日記は国語力の向上に役立っていそうです。引き続きよろしくお願いいたします。

・お子さまが毎日お健やかに、のびのびと登校されている様子に、大変嬉しく励みになります。宿題として取り組んでいる日記につきまして、国語力の向上を実感していただけていることは、指導にあたる教職員にとっても大きな喜びです。日記は、文字の読み書きといった基礎的な語彙力・文章力を養うだけでなく、自分の考えや出来事を振り返り、言葉で表現する「自己表現力」を育てるためにも非常に大切な活動であると考えております。子供たちが「書く楽しさ」を味わいながら、自らの思いを伸び伸びと表現できるよう、今後も丁寧な評価と温かい声掛けに努めてまいります。

○中学校の情報と東浅川小学校の進学状況について、例年の傾向などを知りたいです。

・八王子市におきましては学校選択制の見直し等が行われており、原則としてお住まいの住所地ごとに指定された中学校への進学が基本の方針となっております。これに伴い、本校からは大部分の児童が陵南中学校（一部、指定校変更等の承認基準を満たした場合の浅川中学校などを含む）へ進学する流れが主流となっております。なお、例年、毎年一定数の児童が私立や国公立の中高

一貫校等へも進学しております。本校では、主たる進学先である陵南中学校との『陵南中学校区小中一貫教育』の連携を大変重視しております。特に環境の変化に伴う『中1ギャップ』を解消し、児童が安心して進学できるよう、6年生を対象とした『中学校訪問』を年に2回実施しております。実際の授業の様子を見学・体験したり、部活動の体験や先輩方の話を聞いたりする機会を設けることで、中学校生活への見通しと期待を持てるよう工夫を重ねているところです。今後の具体的な進学手続きや制度の詳細につきましては、中学校から説明会が行われます。ご不明な点やご不安なことがございましたら、いつでも学校（管理職）までご相談ください。

○放課後子供教室と学童の併用を認めて欲しいです。

- ・現在、放課後子ども教室（有償ボランティア運営）と学童保育（民間団体運営）の同日利用につきましては、児童の安全管理上の観点から実施が困難な状況にございます。学童保育では日々170名前後の児童の安全を限られた人員とスペースで確保しており、放課後子ども教室から学童へ移動する際の確実な所在把握や引き継ぎ体制（双方の人員確保など）を構築することが極めて難しいのが現状です。万が一の事故や、移動・帰宅時の誤認を防ぐためにも、慎重な判断が必要となっております。双方の活動を併用することは現時点では厳しい状況ですが、保護者の皆様のご要望は重く受け止め、それぞれの運営主体や市の担当部局に伝えさせていただきます。今後も、子供たちが安全に安心して放課後を過ごせる環境づくりに向けて情報共有に努めてまいります。

○今年は学級だよりを紙でもらっているが、配信の方がなくさない、エコなのでありがたいです。

- ・おたよりのデジタル配信につきまして、紛失防止や環境配慮の観点からの貴重なご意見をありがとうございます。本校でもペーパーレス化や迅速な情報伝達に向け、配信の活用を進めております。一方で、提出が必要な重要書類や、子供たちに自分で管理させたい配布物につきましては、確実な伝達と自立を促す目的から、紙媒体で手渡す工夫も取り入れているところです。今後は、おたよりの性質（日々の連絡はデジタル、重要書類などは紙など）に応じて適切に使い分け、双方の良さを活かした運用に努めてまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

○保護者会等に仕事で参加できないことが多いので、可能な範囲でオンライン参加や録画配信をして欲しいです。

- ・お仕事等でお忙しい中、『オンラインでも参加したい』と本校の教育活動に関心をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。配信に関するご要望につきまして、利便性の向上は課題と捉えておりますが、機器の準備や接続トラブルへの対応等、限られた体制での運用には現状ハードルがございます。また保護者会は、お子様の過ごす教室環境や掲示物を直接ご覧いただき、担任や保護者の皆様が『生の対話』を通じて絆を深める大切な機会と考えております。画面越しでは伝わりきらない空気感を重視したいため、現在は対面実施を基本としております。当日ご参加いただけない方へは、後日資料をお配りするとともに、連絡帳や個別面談等でいつでも丁寧に対応させていただきます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○4月の時点で面談の日程が確定しているのに、個別の日時が確定するのが実施の2週間前はかなり遅いと思いました。私の職場は、前の月の15日までに翌月の希望休日を出すので、休みの申請が全然間に合いませんでした。面談の第一候補の日を選べる訳でもなく、何日か希望日を出すのであれば、来年以降はもう少し早めにアンケートを取って面談日の確定をして欲しいです。私の職場は柔軟に休みを取れるよう対応してくれますが、誰もがそのような職場ではないと思いますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

- ・個人面談の日程調整につきまして、大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。また、お仕事のスケジュール管理や希望休日のご提出において、多大なご不便とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。多様な働き方をされている保護者の皆さまが増えている中、学校からの個別日時の決定連絡が実施の時期について、ご家庭への配慮が不足していたと真摯に受け止めております。他学年やご兄弟姉妹との調整等に時間を要する面はございますが、前月の半ばまでに翌月の勤務希望を提出される職場が多い現状を、学校としても厳粛に把握すべきであると認識いたしました。ご提案いただきましたとおり、来年度以降に向けましては、アンケートの実施および回収時期をこれまでよりも前倒しし、保護者の皆さまが職場でのお休みの申請やスケジュール調整をスムーズに行えるよう、より早期の日時確定と通知に努めてまいります。お仕事と子育てを両立しながら学校教育にご協力いただいている保護者の皆さまが、少しでも無理な

く参加できるよう、組織として見直し・改善を図ってまいります。

- 先日行われた特定の活動に関する保護者宛ての重要なお知らせについて、同じクラスの対象の児童には朝登校した際に机にお知らせが置かれていたそうですが、我が子の机にはありませんでした。当日は欠席もしておらず、どのような経緯でどなたが配付されたのかも分からなかったため、保護者への大切な連絡が手元に届かなかったことは大変残念に思いました。必要な連絡が一部の保護者に行き届かないのは困るため、今後はこのような配付漏れがないよう、確実な対応を気にかけていただけるとありがたいです。
- ・特定の活動に関するお知らせにおいて、配布漏れがあり、大変なご不便とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今回のプリントは、活動の所属児童のみを対象とした案内であったため個別に紙で配布いたしました。確認体制が不十分であったため、不手際が生じてしまいました。今後は、確実に保護者の皆さまへ情報が届く方法へ改善を図ってまいります。学校からの大切な連絡が行き届くよう、再発防止に努めてまいります。
- 階段等の汚れがいつ行っても気になってしまいます。毎日たくさんの児童が行き来するので、汚れてしまうのはしょうがないことだと思いますが、もう少し綺麗になったらいいなと思います。
- ・学校の美化につきまして、子供たちの活動にご理解をいただきつつ、貴重なご意見をお寄せくださりありがとうございます。約540名の児童が毎日元気に活動しているため、屋内外の出入りも多く、階段などにほこりや汚れがたまりやすい現状があり、毎日の清掃で行き届いていない点があることを重く受け止めております。今後は、子供たちが公共の場を大切にする心を育む指導と合わせ、限られた時間の中でも効率よく汚れを落とせるよう、清掃方法や重点場所の見直しを図ってまいります。みんながより気持ちよく過ごせる環境づくりに全教職員と児童で努めてまいります。
- 市内を巡る校外学習の際、近隣の熊出没情報が気になっていましたが、安全な屋内に変更してくださったそうでありありがとうございました。北区の小学校火災のニュースを見て、東浅川小は校舎の造りが複雑なため、校内のどこで災害が起きても安全に避難できる力を身に付けてほしいと感じました。防火扉が閉まるなど想定外の状況も含め、子供たち自身が状況に応じて主体的に考えて行動できるような、実践的な避難訓練があると嬉しいです。
- ・校外学習の件では、温かいお言葉をいただき安心いたしました。また、避難訓練に関する貴重なご意見をありがとうございます。お察しのとおり、本校は校舎が複雑なため、状況に応じて主体的に動く力が不可欠です。ご提案の点につきまして、9月に防火扉が閉まった状態を想定した避難訓練を実施しました。子供たちが自ら考えて行動する良い経験となりました。さらに11月には、八王子消防署浅川出張所と連携し、消火設備や避難経路を確認する職員の防火訓練も予定しております。今後も様々な状況を想定し、どこにいても安全に避難できる実践的な防災教育を進めてまいります。
- 東浅川スタンダードですが、子供が、高学年になれば守らなくても許されるといった認識をもっています。ヘアゴムやキャラクターなど高学年の子供は、みんなこのくらいやってる、などと言い、中学年の子供は、それに納得できない様子です。低学年のときほど、先生が目を光らせてないのは、守っていると信じているからで注意されない＝破っていいわけではないと伝えていますが、高学年でも一度読み合わせたり確認したりしてもらえると、家庭でも学校でも一貫した対応ができるかと思います。
- ・東浅川スタンダード（学校生活の決まり）について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。ご家庭においてきまりの真意を子供たちに丁寧にお話いただいていることに、深く感謝申し上げます。高学年におけるルールの緩みが下級生の意識に影響を与えている現状と指導する教職員の意識や対応の差が子供たちの認識の差に繋がってしまっている現状は、学校として真摯に受け止め、改善すべき重要な課題であると認識しております。学校と家庭が一貫した対応を行うためには、まず学校（職員室）が一枚岩となり、共通の基準で指導にあたることが不可欠です。今後は、高学年担当をはじめ全教職員に対して、改めて「東浅川スタンダード」の共通理解と指導基準の統一を指示し徹底してまいります。どの学級においても子供たちが納得感を持ち、高学年としての自覚を高められるよう、組織として一貫した指導を進めてまいります。
- 多様性を認め合う大切さや、年齢的な発達段階（ギャングエイジ等）によるトラブルの難しさは理解しておりますが、一方で、学級内での頻繁なトラブルや授業の中断により、子供たちの学び

の環境に影響が出ないかと心配しております。個々の特性に応じた適切なアプローチや必要な支援を行っていただき、クラス全体が安心して過ごせる学級運営をよろしくお願いいたします。

- ・安心・安全な学習環境の確保と、個に応じた支援の両立について、学校としても現在進行形の最重要課題として捉えております。ご指摘の現状につきましては、学校としても十分に把握しております。現在、担任の指導に加え、学校サポーターの配置や管理職の介入による見守り体制を敷くとともに、スクールカウンセラー等の専門職とも連携しながら、個別および全体へのアプローチを続けております。すべての時間帯をカバーしきことは難しく、授業の進捗や子供たちの安心感においてご心配をおかけしている部分があることは大変心苦しく存じます。しかしながら、当該児童への適切なアプローチを継続しつつ、クラス全体の子供たちが落ち着いて安全に学べる環境づくりに向けて、今後も全職員で組織的に対応してまいります。
- 子供たちの話や保護者間の情報共有の中で、近年、高学年の教員の目が届きにくい場所（廊下や共有スペース等）での児童間のトラブルや、持ち物の紛失・破損といった問題が起きているのではないかと心配する声が聞かれます。未然の防止や抑止力としてはもちろん、万が一トラブルが起きた際にも客観的事実に基づいた迅速で公平なご指導を行っていただくため、校内の死角となる場所への「監視カメラ（防犯カメラ）」の設置をぜひ検討できないでしょうか。
- ・学年全体の様子について、ご不安な思いを抱えさせてしまい大変申し訳ありません。また、子供たちが安心して過ごせる環境づくりのために、具体的にご提案をいただき感謝申し上げます。ご指摘いただきました事案のうち、持ち物の紛失等のトラブルにつきましては学校でも把握し、該当児童への指導や見守りを行ってまいりました。一方で、「相手に怪我をさせる」といった極めて深刻な事案につきましては、子供たちの間で不安な噂や動揺が広がっていないか、改めて状況の把握と確認に努めてまいります。高学年の行動範囲が広がる中で、教職員の目の届かない場所でのトラブルを未然に防ぎ、事実に基づいた公平な指導を行うことは学校の重要な責務であると認識しております。校内（教室や廊下等）への監視カメラは予定しておりません。学校全体のセキュリティおよび防犯体制の強化は不可欠であると考えており、これまでの正門（町田街道側）に加え、「南門」および「北門」への防犯カメラの増設に向けて、市教委と協議を進めております。校舎内におきましては、休み時間や放課後等の教職員による校内巡回（見守り）の強化、子供たち一人一人との丁寧な面談や心のケアを通じた未然防止・早期発見に全力を注いでまいります。子供たちが誰一人泣き寝入りすることなく、安心して笑顔で登校できる学年・学校づくりに向けて、組織一丸となって指導・支援体制を強化してまいります。貴重なご指摘とご提案をありがとうございました。
- クラスの中で弱い子に対して「～菌と呼ぶ」「宿題をやらせる」「子分のように扱う」などいじめが発生しています。小さな子ではないので学校で泣く事はしませんが、とても自尊心を傷つけており「学校に行きたくない」と訴えることもあります。その場で先生に言うことも加害者の目の前ではできませんし、加害者も先生の目の前で悪い事はしません。どうしても事後相談になってしまいますが、双方への対応をお願いいたします。
- ・学級内におけるいじめ（「～菌」と呼ぶ、宿題の強要、子分扱いなど）について、極めて深刻な現状をお寄せいただき感謝申し上げます。お子さまが深く傷つき、「学校に行きたくない」と悩んでいる現状を、学校として非常に重く受け止めております。本校では、いじめを早期に発見し組織的に対応するため、毎月定期的ないじめアンケートを実施するとともに、週1回の教職員による「学校いじめ対策委員会」において情報を共有し、具体的な対応策を協議しております。高学年のトラブルは大人の前で巧妙に隠される傾向がありますが、表面的な様子だけで判断せず、アンケートや多角的な見守りを通して隠れた実態の把握に努めます。その場で言えず事後のご相談となった場合でも、学校は全力で対応いたします。速やかに事実確認を行い、被害児童を徹底して守るケアを行うと同時に、加害児童に対してはいじめを絶対に許さない毅然とした指導と行動改善へのアプローチを徹底してまいります。子供たちが安心して過ごせる学級・学校づくりに向けて、全職員で真摯に取り組んでまいります。
- 先日、靴の中に故意に異物が入られるという、安全を脅かす重大な事案が発生いたしました。担任の先生の迅速なご対応により、子供は現在落ち着いて登校できておりますが、過去にも同様の時期にトラブルがあったため、保護者としては再発への強い不安と恐怖を感じております。このような事案は決して許されるものではなく、された側の心の傷は計り知れません。今回の件に

ついて、ぜひ保護者全体（特に関連する学年）にも周知していただき、家庭内で「絶対にやってはいけないこと」として話し合っていただく機会を設けてほしいと切に願います。また、学校におかれましても、命の教育と同様に、「いじめや人を傷つける行為の重大さ」を学ぶ授業を毎年定期的に実施し、児童への啓発を徹底していただけますよう強くお願いいたします。

- ・大切なお子さまの靴の中に異物が入られるという、極めて悪質で卑劣な事案が発生し保護者様とお子さまに多大な恐怖と深い心の傷を負わせてしまいましたことを、学校として大変重く、厳粛に受け止めております。また、今回が2度目であるとのことで、登校への強い不安や、大切な我が子を守りたいという保護者様の激しい憤りは当然のものであり、誠に申し訳なく思っております。幸いにも、お子さまが担任との話を経て落ち着いて登校できていることは安堵しておりますが、再発の恐怖を抱えながらの登校である現状を決して見過ごしてはならないと認識しております。ご指摘のとおり、画鋲を意図的に他人の靴に入れる行為は、怪我につながる危険性も含め、絶対に許されない重大な問題行動です。保護者様から「他の保護者の皆さまにも知っていただき、我がこととして子供たちと話し合ってほしい」という切実なご要望をいただきました。これを受け、学校としても以下のとおり対応を徹底してまいります。学年・全校へのアプローチと注意喚起：対象の学年をはじめ、全校の子供たちに対して「他者を傷つける行為は絶対に許されない」ということ、された側の苦しみや恐怖について、改めて毅然とした態度で指導を行います。また、学校だより等を通じ、保護者の皆さまへもご家庭での話し合いや見守りについて、広く協力を呼びかけてまいります。いじめに関する教育のさらなる徹底：ご提案いただきました「いじめについての授業」に関しましては、本校では毎年、全学年において必ず計画的に実施しております。今回の事案を極めて重い課題として捉え、これまでの指導内容をさらに深め、子供たち一人一人の心に響く「命や人権を大切に教育」として、より一層徹底してまいります。見守り体制の強化と再発防止：下駄箱周辺や教員の目の届きにくい時間帯・場所における巡回や見守りの目をさらに強化し、再発防止と早期発見に全力を尽くします。万が一、同様の事案が継続する場合や行為者の特定に至った場合は、関係機関とも連携しながら組織として毅然とした対応を進めてまいります。お子さまが誰一人として怯えることなく、安心して笑顔で過ごせる安全な学校環境を取り戻すため、全職員が一丸となって指導と見守りを徹底してまいります。
- 一部の児童の間で、授業中のChromebookの使用法が不適切である事と学校で菓子類を食べる行為は、他の規律を守っている児童達的心情に悪いので、該当児童に正しく指導して欲しいです。
- ・「校内での菓子類の飲食」など、教員の目を盗んで行われる行為や、学習端末の不適切な使用状況に対し、その都度指導を行ってまいりましたが、規律を守っている多くの子供たちの心情を損ねる行為は決して見過ごせません。死角となりやすい場所を含めた校内巡回を強化して毅然とした指導を徹底するとともに、学習端末のChromebookが「大切な学習用具」であることを自覚させる情報モラル教育を改めて実施してまいります。子供たちが安心・納得して学べる環境をつくるため、全職員で組織的に対応してまいります。
- 白衣が汚れている。手洗いしても落ちない。買い替えるか白衣を廃止してエプロンを各自持参等変えることはできるのでしょうか。
- ・給食着（白衣）の衛生面および香害への対応について、白衣の汚れに加え、柔軟剤や洗剤などの「香害（におい）」による体調への影響や、衛生面の課題について学校としても重く受け止めております。年度当初にもお伝えいたしましたとおり、これらの状況を考慮し、ご希望される方は「個人で用意されたエプロンや三角巾」を使用していただいて構いません。学校管理の白衣の全体的な廃止や、各自持参への切り替えにつきましても、健康被害の防止や衛生管理の観点から、今後の方向性として前向きに検討を進めてまいります。
- 単元テスト結果のオンライン配信に関して、丸付けされないでテストが戻ってくることにより子供達にどのような効果や影響が出ているか確認してほしい。少なくとも保護者側としては、百問CBTは扱いづらく、オンライン配信にしたことによるメリットを感じにくいです。
- ・単元テスト結果のオンライン配信（百問CBT）についてCBTによるオンライン採点については、教員の業務負担軽減に繋がっている一方で、紙のテストに「丸付け」がない状態で戻ってくることへのご不安や、システムの扱いづらさについては昨年度より課題として認識しております。これまでも、テスト返却時に児童自身でチェックを行わせたり、可能な限り担任が採点を加えるよう指示したりしてまいりましたが、学習効果やご家庭での見やすさにどのような影響が出ているか

改めて検証し、より良い返却方法やフォロー体制について職員間で共通理解を図ってまいります。今後も、子供たちの確実な学びの定着に向けて改善に努めてまいります。

○プールの授業を拝見し、命に関わるからこそその真剣なご指導と、暑い中の見守りに大変感謝しております。プールに限らず大人の目が必要な場面は多いため、保護者も遠慮なくお手伝いに声をかけていただきたいと思います。また、Chromebook等のICT授業について、親に知識がなく進み方に不安もありますが、先生方が試行錯誤しながらこの転換期に対応してくださっていることも理解しています。いつも本当にありがとうございます。

・水泳指導をはじめとする安全管理、およびICT教育への温かい労いと貴重なご意見をいただき、深く感謝申し上げます。今年度の水泳指導も、保護者の皆さまのご協力のおかげで無事に全日程を終了することができました。見守りについて「遠慮なく声をかけてほしい」とのお心強いお言葉、大変励みになります。子供たちの安心・安全を守るため、今後は「地域運営学校」として、保護者の皆さまはもちろんのこと、地域の学生や様々な外部の力をお借りしながら、地域一体となった学校支援の体制づくりや発信を進めてまいりたいと考えております。また、Chromebook等の活用に関するご不安も真摯に受け止めております。授業形態の変化に伴う戸惑いを解消できるよう、子供たちへの丁寧な指導を徹底するとともに、保護者の皆さまへも「どのように活用されているか」が伝わるよう、授業参観や学校だより、ホームページ等を通した分かりやすい情報発信に努めてまいります。温かいご理解を力に変え、今後も全職員で安全で生き生きと学べる環境づくりに尽力してまいります。

○授業中、児童同士で学習状況や内容をお互いに確認し合うなど、意欲的に取り組んでいる場面において、状況が十分に確認されないまま「私語やふざけている」と誤解されて注意を受けてしまうケースがあるようです。本人は真面目に取り組んでいただけに、やる気を削がれてしまう結果となり、とても残念に感じております。もし私語を控えるべき場面であれば、その意欲を否定せずに集中を促すようなお声かけをしていただくなど、子供たちの学びへの主体性を引き出す丁寧な見守りとご指導をお願いいたします。

・授業における指導について、意欲的に友だちと確認し合い、学ぼうとしていたお子さまの姿勢を正しく見極めることができず、悔しい思いをさせていただきましたことを深くお詫び申し上げます。本校では学級担任以外の専科教員や講師による授業も多く実施しておりますが、どの授業におきましても、子供たちの主体的に学ぶ意欲を認め、一人一人の様子を丁寧に把握しながら指導にあたるのが重要であると重く受け止めております。今後は、すべての指導者に対し、子供たちの活動の様子をしっかりと見極めた上で声掛けを行うこと、また、画一的な注意ではなく、子供たちが納得感をもってめりはりをつけて学べるような丁寧な言葉掛けを徹底するように、学校全体で共通理解を図ってまいります。

○宿題の提出について、時々、子供が出さなくても大丈夫ということがあり、親が宿題を出す必要性を伝えてもなかなか伝わりません。自主性に任せている部分もあるかもしれませんが、学校からも宿題は必ず出すものということを厳しめに伝えていただけると助かります。中学生になった時に、提出すべきものを出さずに成績に影響するということがありそうで心配です。

・宿題をはじめとする提出物の確認および指導について、将来を見据えご家庭において提出物の大切さを根気強くお話しいただいていることに深く感謝申し上げます。宿題などの提出物を期限内に確実に提出することは、基礎的な学力の定着だけでなく、将来社会に出ていく上での約束事やルールを守る「規範意識」を育てるための極めて重要な学習活動であると認識しております。今後は、子供たち一人一人の状況に寄り添いつつも、学校全体において「宿題や提出物は大切な約束事である」という共通の認識を改めて持ち、それぞれの学年や発達段階に応じた丁寧な声掛けと指導の徹底に努めてまいります。学校とご家庭が一貫した姿勢で向き合うことで、子供たちが自覚と責任感を持って取り組めるよう、日々の見守りと適切な支援を行ってまいります。

○担任の先生に子供のことで相談をした時のしっかりと向き合ってくれる姿勢や、専科の先生方が子供の表情をみて気にかけて話しかけてくれることなど、安心できる環境をつくっていただいている事に感謝しています。

・日頃からの本校の教育活動へのご理解とご協力に加え、教職員への心温まる励ましのお言葉をいただき、深く感謝申し上げます。担任との面談における対応や、専科の教員たちによる日常的な見守りについて、安心感をもっていただけていることは、指導にあたる職員一同にとって大きな

喜びであり、大変励みになります。本校では、学級担任だけでなく、専科教員も含めた「学校全体（チーム）」で子供たち一人一人の小さな変化や表情に目を配り、多角的な視点で見守り・寄り添う体制づくりを大切にしております。学校が子供たちにとって、自分の気持ちを安心して表現でき、のびのびと過ごせる場所であり続けられるよう、今後も温かい声掛けと丁寧な環境づくりに努めてまいります。これからもご家庭と緊密に連携しながら、お子さまの健やかな成長を支えてまいりたいと存じます。

【結びにあたって】

前期の学校評価にあたり、保護者の皆様から大変貴重なご意見やご提言、そして教職員への温かい励ましのお言葉を数多くいただきましたことに、心より感謝申し上げます。いただきました「こうしてほしい」という具体的なお意見は、今後の教育活動の改善に向けた重要な課題として真摯に受け止めております。また、皆様からの温かい応援メッセージは、教職員一同の大きな活力となっております。今後とも、学校と家庭、地域が手を取り合い、子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう、全力を尽くしてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学校評価のアンケートは、毎年、7月と12月に行っております。今回、ご回答いただいた数は113件でした。ご提出していただいた割合が全体の20.9%です。次回は12月に実施いたしますので、引き続き学校教育に向き合ってください、さらに多くの皆様からご回答いただけますよう、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。